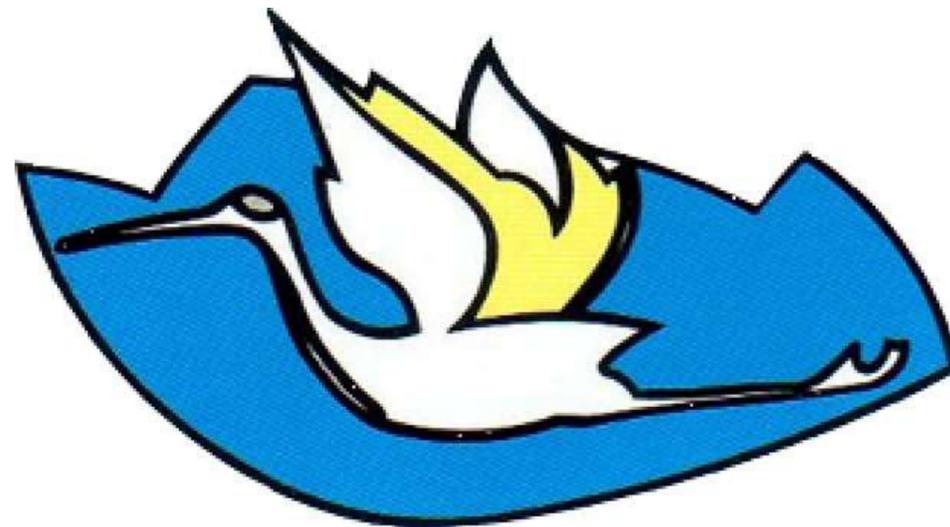


鶴岡市立荘内看護専門学校 整備基本計画書

令和3年 12月

鶴岡市立荘内看護専門学校



目次

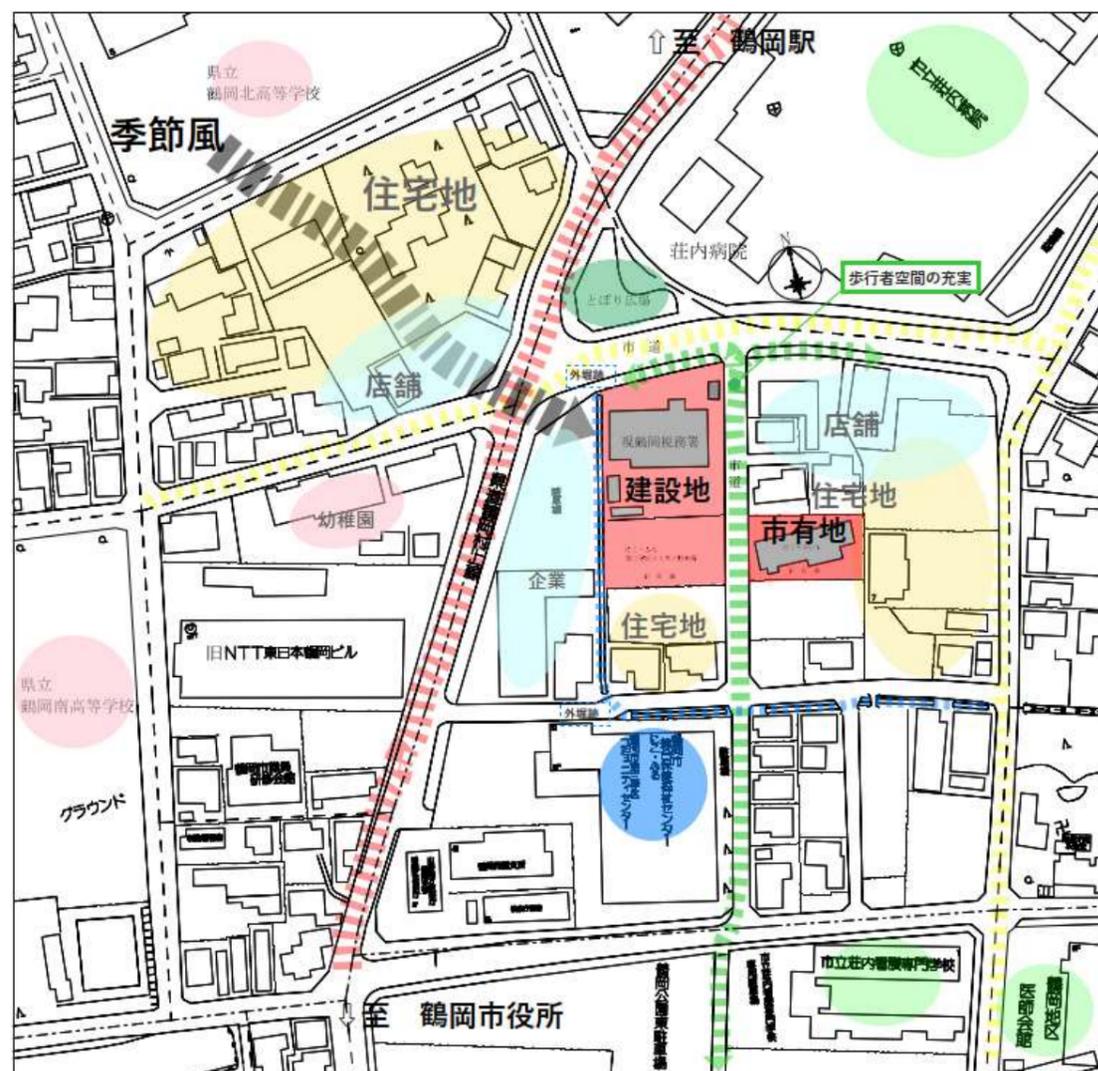
学校の概要	1
建築計画基本理念等	1
新学校の特徴	2
立地と周辺環境	2
沿革	2
施設建設用地	3
施設整備	3
外観のコンセプト	3
必要諸室	3
構造・設備計画	4
設備計画の基本コンセプト	4, 5
木材の活用（木質化） 講堂一般開放、避難所対応	6
整備イメージ	7
地盤 地質調査データについて	8
整備スケジュール	9
計画必要諸室面積 延べ面積 2,500 m ² 程度	10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17

鶴岡市立荘内看護専門学校 整備基本計画書

学校の概要

- (1) 名称 鶴岡市立荘内看護専門学校
- (2) 設置課程等 看護学科（3年課程、全日制） 修業年限 3年
- (3) 学年定員 1学年30人（総定員90人）
- (4) 職員体制
 1. 学校長 1名、副校長 1名
 2. 専任教員 教員（実習指導教員含む）11名
 3. 事務員 事務長1名、事務員1名、司書（事務補助兼務）1名
- (5) 実習施設 荘内病院を中心とした、市内及び庄内地域の医療機関、福祉施設及び介護施設などに協力を依頼する。

移転新築計画地（現況）及び近隣市有地



建築計画教育理念等

- (1) 学校憲章

鶴岡市立荘内看護専門学校は、地域住民の輝くいのちと心身の健康を守り、その人らしく生きていくことを支える看護師を育成します。
- (2) 教育理念

教職員と学生が共に学び合う関係の中で、人に対する愛情と思いやりの心を基盤とし、社会やそこで暮らす人々のニーズに柔軟に対応できる力を備えた、地域医療の担い手としての看護師を育成する。
- (3) 教育目的

豊かな人間性を礎に、看護師としての専門的な知識・技術・態度を備え、変化する地域社会のニーズに対応し地域に貢献できる人材を育成する。
- (4) 教育目標
 1. 様々な状況にある人を全人的な存在として捉え、その人の気持ちに寄り添える豊かな感性を身につける。
 2. 地域を知り、地域を愛し、住民とともに成長していく姿勢を身につける。
 3. 科学的根拠に基づいて、一人ひとりの健康状態や生活の場に応じた看護を実践できる力を身につける。
 4. 保健・医療・福祉チームの一員として看護専門職の役割と責任を理解するとともに、地域のニーズへ対応できる能力を身につける。
 5. 看護師としての高い倫理観と継続的な学習姿勢を身につける。
- (5) 期待される学生像（卒業時）
 1. 豊かな感性と人間性で、人に寄り添うことができる人
 2. 地域に暮らす人々には多様性があることを理解し、それぞれの人生や価値観を尊重できる人
 3. 個別性を踏まえ、科学的根拠に基づく看護実践ができる人
 4. 保健・医療・福祉チームにおいて、看護専門職としての役割を果たせる人
 5. 看護実践能力を向上し続けるために、自己研鑽ができる人

新学校の特徴

- (1) 個々に合わせた手厚い学習支援
 - ・チューター制度（担当制）
 - ・キャリアデザイン設計を支援
 - ・看護師国家試験の高い合格率
- (2) 地域・施設での充実した実習
 - ・庄内の特色ある地域医療実習
 - ・魅力ある地域でフィールドワーク
 - ・教育機関や地域施設との連携
- (3) 時代に合った快適な学習環境
 - ・充実したオンライン学習環境
 - ・シミュレーション学習の充実
 - ・過ごしやすい生活アメニティ

立地と周辺環境

当該地は、鶴岡市の中心市街地に位置し、緑豊かな城址公園である鶴岡公園に近接しており、江戸時代の酒井家入部以来の町割りが多く残され、鳥海山・月山・金峯山・高館山等の周辺の山々を望む「山当て」が鶴岡らしさを表す良好な景観を有している。

平成14年より「鶴岡文化学術交流シビックコア地区」に指定され、市立荘内病院、総合保健福祉センター「にこ・ふる」、令和4年業務開始予定の鶴岡第2地方合同庁舎など、都市機能の集積を図ってきたエリアである。また、令和6年度には中高一貫校が開校予定であり、より一層の学術文化の拠点として期待される地区となっている。

併せて「三の丸地区の景観まちづくりガイドライン」の対象区域となっており、ガイドラインでは城下町らしさの保全等のための方針、指針、方策を提示している。

平成29年からは立地適正化計画に規定する「都市機能誘導区域」に指定され、本事業についても誘導施設整備事業と位置付け、「鶴岡市城下町まちなか居住環境整備地区都市構造再編集中支援事業」（国庫補助事業）を財源として活用する予定としている。

沿革

鶴岡市立荘内看護専門学校は、歴史を振り返ると、大正3年荘内病院の看護の向上を目的とした「看護婦講習所」の開設に始まった。太平洋戦争により、医療や看護の領域でも大きな影響を受けることとなったが、鶴岡市は新しく看護婦養成の学校を設立することとし、昭和25年3月に本校の前身である「鶴岡市立荘内病院甲種看護婦養成所」を開設、翌昭和26年には、「鶴岡市立荘内病院高等看護学院」に名称を改め、昭和51年4月に現在の「鶴岡市立荘内看護専門学校」となり、令和2年に創立70周年を迎えた歴史と伝統のある学校です。

この間、1,130名余りの看護人材を育成し、荘内病院をはじめ地域の病院、医療機関、介護・福祉施設など全国で活躍し、地域社会へ貢献してきました。

近年、医療や福祉を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の一層の進展、疾病構造の変化や新型コロナウイルスの流行、医療技術の高度専門化など多種多様に変化しており、看護現場や看護職に対する市民の期待の声も大きくなっており、一方で、少子化の影響により、当校もここ数年受験者数が減少し入学定員の確保が課題となっていますが、時代の要請に対応した人材をできるだけ多く看護現場に提供していくことが、本校の責務と考えております。

令和2年3月に県が策定した山形県看護職員需給推計において、令和7年（2025年）における需給推計では、庄内地域を含め県全体で約640名が不足するとの推計結果となっており、令和2年度に行った本市での調査でも看護職員の一定の需要があることを確認しております。

施設建設用地

建設用地は、主要な実習施設となる荘内病院の隣地で、国の鶴岡第二地方合同庁舎建設に関連し、国有地と土地交換を行い市有地となった、現在の税務署用地及び近接する市有地にて建設を行います。

- ・ 建設予定地 鶴岡市泉町5-92、93、94、98、134、135
- ・ 敷地面積 2,829.55㎡
- ・ 都市計画区域等 都市計画区域内、市街化区域
- ・ 用途地域 第2種住居地域
- ・ 防火地域 法22条地域
- ・ 法定容積率 200%
- ・ 法定建ぺい率 60%
- ・ 高度地区 第1種高度地区 高さ制限15m
- ・ 前面道路（市道）北側 約12.0m、東側 約5.0m
- ・ 関連計画 景観計画の計画区域内

施設整備

◆施設整備方針

将来にわたり学生を確保していくためには、学校の教育理念や教育目標などに加え、特徴のある魅力的な施設であることも重要な要素となる。そこで、施設の整備にあたっては次の点に留意していく。

1. 建物は堅牢で、防災、防犯に配慮した計画とする。
2. 明るく快適な学習環境に配慮した施設とする。
3. オンライン授業や遠隔授業など、充実したデジタル通信環境に配慮した施設とする。
4. 各教室への視聴覚機材の設置や、各種実習に対応した機械器具や用具等を充実させ、さらに高機能シミュレータを用いたシミュレーションルームを計画する。
5. 交流スペースやくつろげる空間に配慮したゆとりある施設とする。
6. 諸室は、「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」に準拠した整備を行うと共に、将来を見据えた配置とする。
7. 必要な施設設備の機能を十分確保しつつ、過剰な投資とならないように配慮する。
8. 自然エネルギーの有効利用や省エネルギー性能をもつ建築資材、設備器材の採用など、維持管理経費の軽減について検討・精査しトータルコストの適正化を図る。
9. 建設地は「現鶴岡税務署敷地」、「にこ・ふる、第3学区コミュニティセンター駐車場」とし、相互の敷地段差（にこ・ふる駐車場が+50cm程度）の解消も含めて一体で整備する。

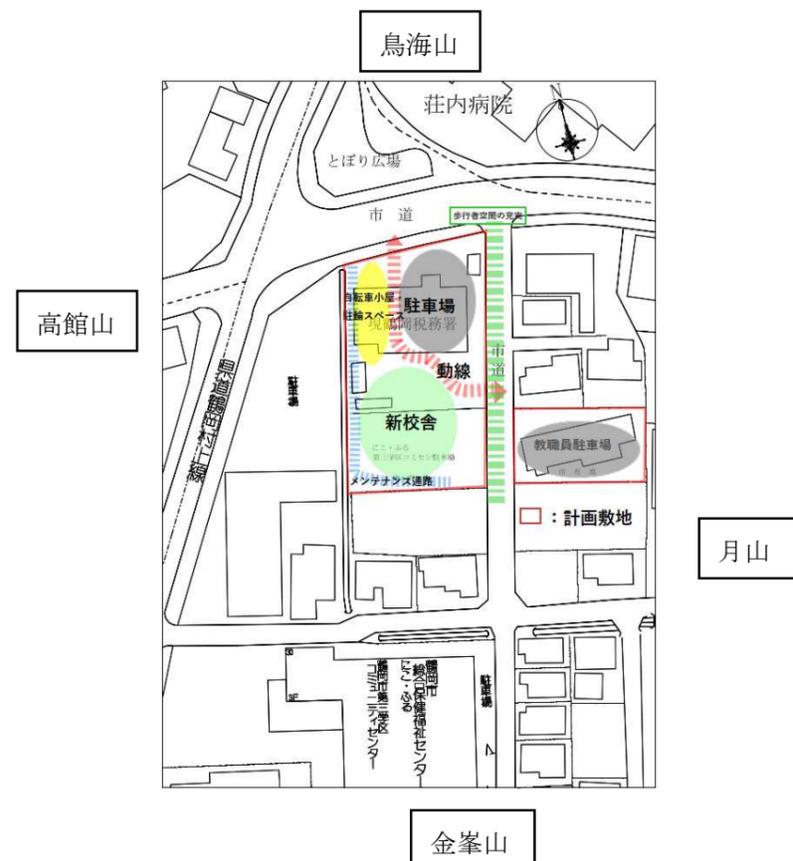
外観のコンセプト

周囲の景観と調和した、威圧感の無い外観とします。
汚れが付着しない、流れ落ちるような外壁仕上げの選定を行います。

◆施設規模及び構造など

1. 延床面積は2,500㎡程度とし、機能的な整備を行う。
2. 建物構造は鉄筋コンクリート造、又は、鉄骨造とし、工期短縮が可能な構造計画・工法の検討、コストコントロールを図ります。
3. 3階建てを想定した機能的な諸室配置とする。
4. 教職員、非常勤講師及び学生の動線に配慮した施設配置を行う。
5. 諸実習室については実習施設（病院・福祉施設等）における実習を見据えた配置とする。
6. 不審者の侵入等、防犯に配慮した構造・配置とする。
7. 学生の移動手段を考慮し、自転車小屋・駐輪場を整備する。
8. 駐車場の整備は非常勤講師や来客用とし、教職員分（25台程度）は隣地市有地を視野に検討する。

配置イメージ



必要諸室

看護師養成所の整備にあたり、次に掲げる諸室を配置する計画とする。

1. 普通教室（3）、多目的教室
2. 実習室 基礎看護学実習室、成人・老年看護学実習室、地域在宅看護論実習室、母性・小児看護学実習室、シミュレーションルーム、各準備室
3. 図書室
4. 情報処理室
5. 学校長室（副学校長室）、応接室
6. 職員室（教員室、事務室）、職員会議室、職員研究室（3）、職員休憩室、講師控室
7. 会議室（2）、相談室（3）
8. 玄関ホール・交流スペース、調理実習室
9. 講堂（軽運動可）
10. その他の諸室
学生研究室、学生自治会室、ゼミ室（3）、同窓会室、給湯室、演習室、保健室、教材室、印刷室、更衣室、トイレ、多目的トイレ、電気室、機械室、倉庫など

現在の学校に設置されている卒業記念品が活かせるよう設計に盛り込むこととする。

構造・設備計画

◆構造計画

計画地の地盤については、令和3年度に実施しましたボーリング調査結果を基に基礎検討を行います。（8ページ参照）

その結果、地下水位高さは約GL-1.50mで、GL-10m付近よりN値10、GL-15m付近ではN値20、GL-25m付近でN値50となっています。

◆荷重等

本計画建物は地震時の避難所としても想定されることから、十分な外力を設定していきます。さらに大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れを行う上で、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とした仕上げとします。

◆耐震安全性

学校として、また、地域防災計画で避難所として指定された施設としての、官庁施設の総合耐震計画基準「耐震安全性の分類」は以下の通りとする。

・構造体 II類（重要度係数1.25）

大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく、建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られていること。

・非構造部材 B類

大地震動後、災害応急対策活動や被災者の受け入れの円滑な実施、または、危険物の管理のうえで、支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて、十分な機能確保が図られていること。

・建築設備 乙類

大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていること。

・積雪荷重 150cm 300kg/m²

・地震地域係数 Z=1.0（建設省告示 昭和55年11月27日建設省告示第1793号）

◆構造方式

平面・断面構成を考慮し、安全で経済的な構造方式の検討を行うとともに、魅力ある空間構成をつくるための意匠設計と綿密な調整を行います。

また、浸水災害時に2～3mの浸水の可能性がある地域の対応についても、十分考慮した構造計画とする平面・断面構成を計画し、安全で経済的な構造方式の検討を行うと共に、魅力ある空間を作るために、意匠設計とのコラボレーションにも留意していきます。

設備計画の基本コンセプト

建築計画と一体となった計画とし、それぞれの空間特性に適した省エネルギーに配慮した設備計画を行い、学習環境の変化に伴う用途や、間仕切りの変更に対して柔軟に対応する等、老朽化による設備の変更・更新が行いやすいよう計画し、長く使い続けられる学校としていくとともに、環境面からのサステナブル（持続可能性）にも十分に配慮していきます。

◆看護実習室には、実習用として、酸素等の医療ガス設備の整備を行います。

◆環境対策

環境負荷化が少ない材料、工法、エネルギーの採用、シックハウス対象外材料を選定します。

◆省エネルギー

- ・高断熱高気密構造によるエネルギーロスの低減対策の実施
- ・省エネルギー製品の活用、エネルギー使用量と室温等の「見える化」による環境管理
- ・自然エネルギーの活用

◆自然エネルギーの活用

- ・自然の力を活用した温熱制御を検討します。
- ・自然採光による明るい空間にします。
- ・雨水利用の検討を行います。
- ・太陽光発電及び蓄電池設備の検討もを行います。

◆目標値と効果の検証手法

CASBEE（建築物総合環境評価システム）による評価を行うものとし、目標値を「Aランク」以上とします。

◆空調・換気計画

中間期については、通風・換気の仕組みを考慮し、風の通り道をわかり易いものにし、風の通り道を建築計画的に確保し、自然通風による良好な屋内環境をつくっていきます。

夏季、冬季については、教室・実習室ともに冷暖房設備を設置する。冷暖房設備については、冷暖兼用出来る機器選定とし、コスト・効率・機器更新性を十分検討します。

併せて、熱交換換気設備や換気機能付き冷暖房設備を検討します。

また、教室前後等に扇風機やサーキュレーターを整備し、冷暖房機器能力の効率化を図ります。

さらに、将来的な維持管理を考え、集中管理方式を用いる場合は、簡素化した最低限な集中管理設備とし、各教室の設備機器については、部屋ごとに機器交換、更新できるものを検討します。

また、高断熱高気密サッシ等を採用し、省エネルギーと安定した屋内環境整備を検討します。

◆照明計画

省エネルギーの観点から自然採光を積極的に取り入れていきますが、学習スペースについては、直射日光による明るさのムラを排除する間接光を取り入れた安定した照度確保を検討します。

また、人工照明は機器の効率化を行い、机上で500ルクス以上の照度を確保する設備を配置していきます。廊下等の非作業スペースについては、必要以上の明るさにならないように計画していきます。

照明器具については、LED照明器具を採用するとともに、照度センサーや人感センサー

などの併用により、より一層の省エネに努めると共に、維持管理を考慮し、出来る限り光源の種類を統一します。

◆火災対策

関係法令に基づいて、必要な防火・消火・避難設備を設けます。

◆地震対策

構造体はもちろん、設備機器などの非構造部材の耐震性を考慮し、軽微な地震に対しては、継続的に利用可能な計画とします。

大規模災害時など有事の際、学生および職員の避難等が確保できることを想定し計画します。また、ライフラインの寸断に伴う対策として、以下を検討します。

- I 雨水のトイレ洗浄水への活用
- II 可搬式自家発電設備による給電を想定した電気回路の構築
(事務室、講堂への照明、コンセントへの電力供給)
- III 防災機能強化の一環として太陽光発電設備、蓄電池設備の設置

◆水害対策

大雨による河川の氾濫により3mから5mの浸水が起きた場合、気象情報等による早めの水平避難を実施するため、生徒・教職員の人命安全確保のための対策として、校舎について2階床面の高さを浸水深以上とする計画や、電気室（インフラ機能含む）の2階以上への配置、緊急避難できる垂直避難対応、1階部分は浸水後の復旧が容易な仕上げ材の検討等を行っていきます。

◆防犯設備計画

敷地及び校内へのアプローチを絞り込み、死角の発生しない平面・断面構成の検討により、不審者が侵入しにくい建築計画を基本としますが、これらを補完する設備として、デジタル録画機能付き防犯カメラや監視モニターの設置を事務室に検討します。

また、2階事務室配置となることから、来客玄関にカメラ付きのインターホンを設置し、当該出入口の電気錠の設置についても検討します。

◆情報設備計画

事務室と各教室、各所室の連絡手段としては、デジタルPBX及びPHSやWi-Fiを活用した機器で検討します。

また、外線発信は、校長室、事務室を基本とするが、端末でも設定により発信できるものとする。併せて、働き方改革対応として、ナンバーディスプレイ及び、留守番電話機能を付加した親機とします。

情報ネットワークについては、ICT対応を基本とし、校内LAN、無線LANなど情報内容のセキュリティに十分配慮した内容で構築します。

(基本4系統：生徒用系統・教師校務系統(非インターネット接続)・教師情報系統(インターネット接続系)・財務系統)

◆昇降設備(EV)

バリアフリー対応及び医療機器の昇降用として整備します。設置場所については、医療機器を使用する諸室との繋がりを検討し、エレベーターのカゴの大きさや、開口部の大きさについては、医療用ストレッチャー及び医療用ベッドの積み下ろし、車イス利用者の使用に支障の無い大きさを選定します。

木材の活用(木質化)

内装で建築基準法や関係法令で支障がない部分については、「つるおかの森再生構想」および「鶴岡市の公共建築物における木材の利用促進に関する基本方針」に基づき、積極的に木材を使用した仕上げに努めます。

また、外装であっても構造的に支障がない意匠羽目板等、維持管理を検討した上で、積極的な木材使用に努めます。

講堂一般開放対応

講堂は、式典や集会場、研修会場、及び、軽運動ホールとしての利用の他、一般開放利用対応も想定されることから、開放用動線の設置と学校とのシャッター等管理区画を設置します。

また、大規模災害時など有事の際に、地域住民の一時避難所になる可能性があることから、動線および室のバリアフリー対策、断熱対策を実施し、冬場でも底冷えしないような建築性能確保計画や防災物品収容倉庫の設置を計画します。

浸水時の緊急避難対応については、設計提案された水害対策に記載した計画とします。あわせて、大規模災害時など有事の際の感染症対策も検討します。

設計に盛り込む卒業記念品等

- ①玄関ホールに設置されている「ステンドグラス」
a:W910mm×H360mm b:W965mm×H600mm c:W965mm×H860mm
d:W915mm×H860mm e:W910mm×H600mm f:W910mm×H360mm
- ②3教室廊下に設置してある「絵画」W945mm×H760mm
- ③1教室に設置してある「ナイチンゲール誓詞」W840mm×H745mm
- ④廊下に設置してある「オルゴール時計」Φ470mm
- ⑤応接室(講師控室)に設置してある「名言_額」W480mm×H1050mm
- ⑥応接室(講師控室)に設置してある「レリーフ」Φ380mm
- ⑦応接室に(講師控室)設置してある「写真_額」W455mm×H350mm
- ⑧職員室前廊下に設置してある「絵画」W1475mm×H1145mm
- ⑨職員室前廊下に設置してある「富樫実先生作モニュメント1」W405*D405*H700
- ⑩玄関ホールに設置してある「ナイチンゲール像」W600mm×D520mm×H1795mm
- ⑪玄関ホールに設置してある「富樫実先生作モニュメント2」W450*D450*H1580
- ⑫玄関ホールに設置してある「振り子時計」W360mm×D140mm×H1170mm
- ⑬講堂に設置してある「ナイチンゲール誓詞」W940mm×H480mm
- ⑭講堂に設置してある「校歌_額」W1065mm×H660mm
- ⑮講堂に設置してある「ピアノ」W1510×D620mm×H1210mm
- ⑯印刷室前廊下に設置してある「絵画」W1630mm×H1950mm
- ⑰更衣室前に設置してある「絵画」W1060mm×H1320mm
- ⑱更衣室前に設置してある「姿見(鏡)」W370mm×H1200mm
- ⑲更衣室前に設置してある「コート掛け」(W900mm×D420mm×H1500mm)×6台
- ⑳実習棟廊下に設置してある「富樫実先生作モニュメント3」W400*D400*H700
- ㉑相談室(応接室)に設置してある「絵画」W490mm×H580mm
- ㉒相談室(応接室)に設置してある「博愛_額」W1050mm×H480mm
- ㉓図書室に設置してある「人体模型3体」大(W600mm×D615mm×H2000mm)
中(W760mm×D600mm×H1850mm)、小(W600mm×D400mm×H1450mm)
- ㉔図書室に設置してある「絵画」W640mm×H715mm
- ㉕在宅実習室に設置してある「冷蔵庫」W530mm×D600mm×H1620mm
- ㉖実習室廊下に設置してある「木製パーテーション」W940mm×D365mm×H1565mm
- ㉗玄関ホールに設置してある「自動販売機」と「ゴミかご」
自動販売機 W1170mm×D740mm×H1870mm ゴミかご W920mm×D525mm×H1055mm
- ㉘玄関ホールに設置してある「プレート」W400mm×H300mm

看護学校整備イメージ

3階 その他の諸室

情報処理室、電気・機械室、講堂吹抜
給湯室、教材室、準備室、EV・階段
洗濯・乾燥室、物干しスペース
男女トイレ（バリア対応）

地域・在宅看護論実習室
基礎看護学実習室
成人・老年看護学実習室
母性・小児看護学実習室
シミュレーションルーム

3階

2階

教室1・2・3、多目的教室
教員室・事務室・校長室・応接室
講師控室・会議室・更衣室

1階 その他の諸室

学生自治室、ゼミ室1～3
同窓会室、学生研究室、給湯室
教材室、男女トイレ（バリア対応）
男女更衣室、講堂下倉庫、EV・階段

2階 その他の諸室

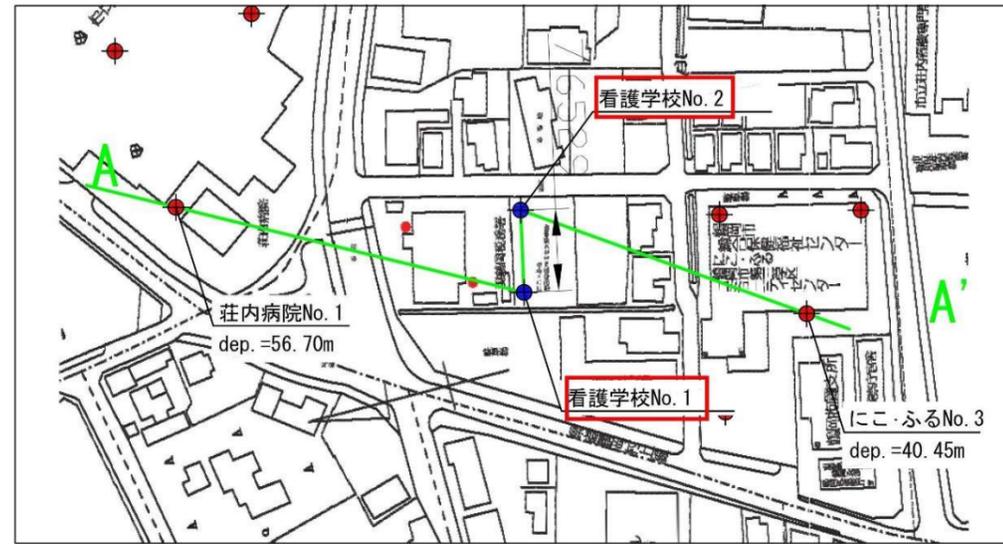
保健室、会議室、職員休憩室
給湯室、教材室、職員トイレ
EV・階段、講堂
男女トイレ（バリア対応）

図書室、相談室1～3、研究室1～3
調理実習室
地域の方々との交流スペース
玄関ホール、風除室

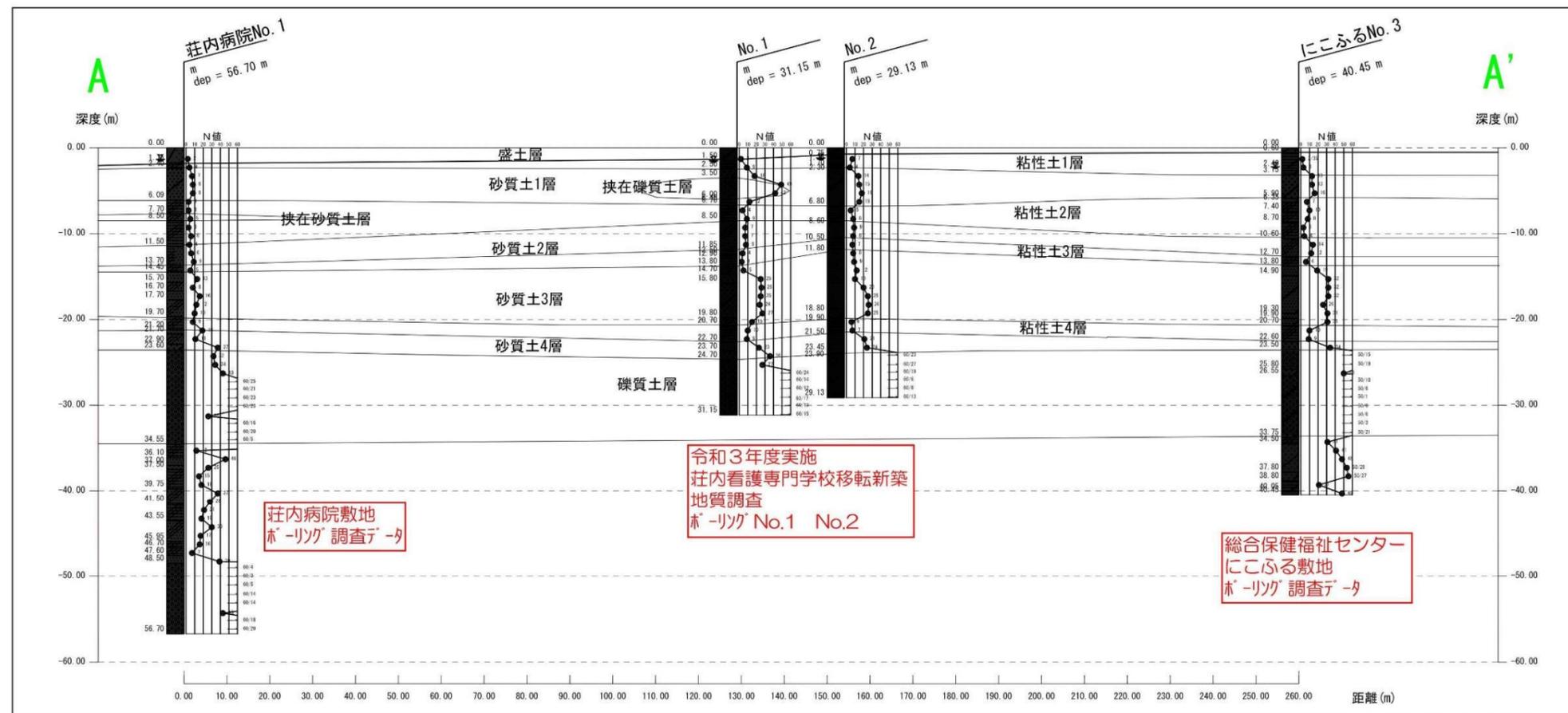
1階

地盤 地質調査データについて

令和3年度に実施した、予定敷地内の地質調査データにつきましては、次のとおりです。



平面図 (S=FREE)



注) 既往データのGL高さは同一と仮定して作成した。

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度							
区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
管理	教員室・事務室	17人	72.0㎡	1	給湯機能、OAフロア、壁面収納(扉ホワイトボード機能付き等)、窓口 コピー、FAX機 資料整理台(大型パンチ、カッター)、TV、書棚(壁面設置)、机15 椅子15 脇机15 ミーティングテーブル1 椅子15 新しい耐火金庫1台	外線5 (事務1教務4)	2階
管理	校長室	1人	18.0㎡	1	事務机1 椅子1 ミーティングテーブル1 椅子6、TV、コピー機 耐火金庫1台 同窓会からの書棚3台、ロッカー1台	外線1	2階
管理	応接室	6人	14.0㎡	1	最大6人収容 応接用椅子、テーブル、サイドボード、TV	内線1	2階
管理	講師控室	6人	13.5㎡	1	最大6人収容 椅子6 テーブル1又は2、洗面台、ペーパーホルダー	内線1	2階
管理	職員用会議室	20人	50.0㎡	1	スクリーン、プロジェクター、音響設備、ホワイトボード、机(二人かけ10台) 椅子(一人 掛け20)、最大20人収容を想定	内線1	2階
管理	職員休憩室	15人	22.5㎡	1	TV、食事をとれるテーブル、椅子(職員数15)、横臥位になれるスペース(長ソファ) 枕、タオルケット、布団、シーツ、手洗い場、流し台、給湯設備、食器棚 ペーパータオルホルダー、冷蔵庫、電子レンジ	内線1	2階
管理	職員更衣室	15人	24.0㎡	2	男女の更衣室が必要 内外鍵施錠(カードまたはナンバー 施錠可能なロッカー(カードまたはナンバー)、着替え可能なスペース	内線1	2階
管理	職員トイレ(男女別)		18.0㎡	2	男子大1、小1、女子 3 男女学生用と同様 ・洋式(パブリックコンパクト便器・蓋あり・ウォッシュレット付) 3人分可能 パウダーコーナー等のスペースあり ※棚付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 男子:・洋式(蓋あり・ウォッシュレット付) 1人分可能 ・小便器コーナー必要		2階
管理	印刷室		12.0㎡	1	複写機、輪転機の設置、コピー用紙保管ラック、実習用印刷物入れ(引出し等)		2階

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
管理	女子トイレ(学生用)		36.0㎡	1	・洋式(パブリックコンパクト便器・蓋あり・ウォッシュレット付) 6人分可能 パウダーコーナー等のスペースあり・ドアのタイプ(上部空間あり) ※棚付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 バリアフリー対応ブース1箇所		2階
管理	男子トイレ(学生用)		16.0㎡	1	大便器2、小便器3 ・洋式(蓋あり・ウォッシュレット付) 2人分可能ドアのタイプ(上部空間あり) ・小便器コーナー 3人分可能 ※棚付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 バリアフリー対応ブース1箇所		2階
管理	保健室		20.0㎡	1	・ベッド 3台・机2・椅子7(内訳:診察医用肘付1 学生・ご家族・教員等6) ・カーテン・パーテーション・簡易机と椅子・ ・プライバシーが保持されるため ・物品棚2 ・カート2 ・AED(リース) ・診察台 ・処置台 ・給湯機能 ・洗面台 ・ペーパーホルダー・ロッカー2 ※教育庁 学校保健法および同法施行令・体育局長通達:保健室の備品等 参照	外線1	2階
管理	講堂		250.0㎡	1	①式典 ②体育時(バレーボール一面と軽スポーツが可能なスペース) ③学校説明会・看学祭等外部の方も含めて使用することあり。 ※ステージあり(ステージ下に椅子と長机の収納) ※酸素と吸引の医療用配管を設置 ①式典:学生95名・保護者40名・教職員と運営委員25名・来賓30名・ 病院職員30名(合計220名程度) 式典用看板の保管場所あり・ ピアノ1台・演台・小演台(花用・記念品用) ②バレーボール・縄跳び・卓球等実技 ・ホワイトボードで上下2段式の可動式 ・運動用具室(教材室にて対応) ・掃除用具等を置くスペース ③天井付PJ・ステージに上下可動式スクリーン ・PC・オーディオ機器・マイク等設置	内線1	2階
管理	講堂下倉庫(教材室)		250.0㎡	1	・基本:過去の資料等を保管する。但し、水害があることを念頭におく必要がある。 ・災害用の救護品を可動できるように設置 ・日頃、使用しない物品を保管する(棚設置、可動式棚も設置)		1階
管理	職員講師来客玄関		16.0㎡	1	カメラ付きインターホン、遠隔電気錠検討、下足棚を設置し、土足禁止エリアを設定 職員勝手口の検討、ゴミ置場・除雪道具等倉庫(外部扉対応)		1階

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
管理	学生玄関		60.0㎡	1	下足棚を設置し、土足禁止エリアを設定 防寒着掛け、傘立て		1階
管理	玄関ホール		18.0㎡	1	土足対応、玄関マット、スロープ		1階
管理	風除室		15.0㎡	1	2台の自転車		1階
管理	電気室・機械室		15.0㎡	1			3階
管理	昇降機(EV)		6.0㎡	3	車いす対応		各階
管理	階段		36.0㎡	3	手すり		各階
管理	廊下等		54.0㎡	3			各階
看護学校	1教室	30	90.0㎡	1	天井付けプロジェクター、備え付けスクリーン、上下可動式黒板、掲示ボード、学習机と椅子(PCやタブレットも置ける)30セット、教卓と椅子 1セット、サブテーブル(PC等置けるもの)、学生用ロッカー(鍵付き)、ホワイトボード、ノートパソコン、テレビ・レコーダー(BR,DVD)、棚(教材保管など)、ワイヤレスマイクセット、掃除用具棚、ゴミ箱、タブレット収納棚充電可能タイプ(鍵付き) ※全室共通で換気システム、時計、カーテン(ブラインド)、電話(小型・携帯)、照明(LED・ブルーライトカット、場所によっては人感センサー付きのもの)、ITVシステム	内線1	2階
看護学校	2教室	30	90.0㎡	1	天井付けプロジェクター、備え付けスクリーン、上下可動式黒板、掲示ボード、学習机と椅子(PCやタブレットも置ける)30セット、教卓と椅子 1セット、サブテーブル(PC等置けるもの)、学生用ロッカー(鍵付き)、ホワイトボード、ノートパソコン、テレビ・レコーダー(BR,DVD)、棚(教材保管など)、ワイヤレスマイクセット、掃除用具棚、ゴミ箱、タブレット収納棚充電可能タイプ(鍵付き) ※全室共通で換気システム、時計、カーテン(ブラインド)、電話(小型・携帯)、照明(LED・ブルーライトカット、場所によっては人感センサー付きのもの)、ITVシステム	内線1	2階

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
看護学校	3教室	30	90.0㎡	1	天井付けプロジェクター、備え付けスクリーン、上下可動式黒板、掲示ボード、学習机と椅子(PCやタブレットも置ける)30セット、教卓と椅子 1セット、サブテーブル(PC等置けるもの)、学生用ロッカー(鍵付き)、ホワイトボード、ノートパソコン、テレビ・レコーダー(BR,DVD)、棚(教材保管など)、ワイヤレスマイク1セット、掃除用具棚、ゴミ箱、タブレット収納棚充電可能タイプ(鍵付き) ※全室共通で換気システム、時計、カーテン(ブラインド)、電話(小型・携帯)、照明(LED・ブルーライトカット、場所によっては人感センサーつきのもの)、ITVシステム	内線1	2階
看護学校	多目的教室 (食堂・視聴覚室兼)		90.0㎡	1	天井付けプロジェクター、備え付けスクリーン(大型)、掲示ボード、備え付け可動式パーテーション、長机(20)、椅子(40)、円卓(商品名:EASAC)、ホワイトボード、ワイヤレスマイクセット、ノートパソコン(1台)、テレビ・レコーダー、棚(教材保管など)、パーテーション、観葉植物、ポット、電子レンジ、可動式電子黒板、ソファ、ITVシステム	内線1	2階
看護学校	シミュレーションルーム		90.0㎡	1	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジコ 1体 +1体 ・SCENARIO 1体 ・摘便・浣腸モデル 1体 ・気管内挿管訓練モデル: DAMシミュレータートレーニングモデル 1体 ・救急蘇生人形:レサシアンQCPR全身充電式スキルガイド 1体 ・経管栄養訓練モデル:経管栄養シミュレーター 1体 ・吸引訓練モデル:吸引シミュレーターQちゃん 1体 ・導尿・浣腸訓練モデル:女性導尿・浣腸シミュレーター 1体+1体 男性用導尿・浣腸シミュレーター ・殿部筋肉注射モデル4体 ・採血静注シミュレーター「シンジョー」1体 ・静脈採血注射モデルI型1体 ・点滴作業台用ワゴン 1台 ・ベッド3台(フィジコ2体+SCENARIO1体を乗せる) ・マイスコ診察台(ベーシックタイプ) 1台 ・平テーブル:施設向けテーブル 4台 ・ITVシステム 	内線1	3階
看護学校	地域・在宅看護実習室		111.0㎡	1	フロアに敷くタイプの畳部屋(6~8畳)、見えるタイプの浴槽・洗面台・脱衣所、シャワー、システムキッチン(高さ調整可能)、バリアフリー仕様トイレ、低ベッド、テーブル、食卓テーブル、椅子、入浴用の介護椅子、簡易浴槽(ゆっくん)、入浴介助用品(各種)、ホワイトボード ITVシステム ※酸素と吸引の医療用配管を設置	内線1	3階

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
看護学校	準備室		18.0㎡	1	備品棚、リクライニング車椅子		3階
看護学校	基礎看護学実習室 成人・老年看護学実習室	35	125.0㎡	1	ベッド10台 床頭台10台 オーバーテーブル10台 椅子10脚 天井カーテン10ヶ所 ナースコール10ヶ所 ナースコールボード1台 手洗い場10台 吊下げ式教示鏡(反射鏡)10台(手洗い場の上に設置) 洗髪台2台 電動スクリーン1台 天井プロジェクター1台 移動観覧席1台 収納棚4台 ナースステーション可動式カウンター1台 点滴処置台1台 酸素・吸引設備2ヶ所 心電図モニター1台 輸液ポンプ5台 シリンジポンプ5台 救急カート1台 輸液スタンド10台 可動テーブル5台 音響設備1セット 車椅子10台・ストレッチャー3台・担架1台 ・八重(万能型看護実習モデル)3体 ・ふくたろう(入浴介助実習モデル)3体 ・ケイコ(介護実習モデル)3体 ・高齢者擬似体験セット5つ(旧学校より1つ含む) ・ITVシステム ※酸素と吸引の医療用配管を設置	内線1	3階
看護学校	準備室		25.0㎡	1	壁面収納棚(全面) モデル人形収納棚4体用1台(旧学校より1台・合計2台)、モデル人形収納棚3体用1台、移動可能な収納棚(中央に配置する棚)		3階
看護学校	母性・小児看護学実習室		76.0㎡	1	・はな(周産期全身実習モデル) 1体 ・Konoha(スターターパッケージ) 1体 ・乳房マッサージモデルⅢ型(装着型) 2体 ・バイタルサインベビーⅡ 1体+1体(コーケンベビー) ・コーケンベビー女の子 2体+男の子 1体 +女の子2体、男の子3体(合計8体になる予定) ・ニューボーンアン(NGPR(新生児蘇生)コース向けのマネキン 1体 ・コーケン未熟児モデルBタイプ 1体 ・ベビーアン(4体セット)CPR用 1つ ・コット 8台 ・妊婦体験ジャケットⅡ型 6つ ・沐浴槽(そなえつけ)5台 (沐浴槽はスタンドアロンタイプとし、グループで囲んで見学出来る様に設置) ・保育器:ラビーインキュー i 1台 ・デジタルベビースケール 2台 ・デジタルベビー身長体重計 2台 ・小児ベッド(KB-665C) 1台 ・ベッド 2台(はな, Konohaを乗せる) (・新生児用肌着・長着・沐浴布・ガーゼハンカチ) ・ベビー着替え用処置台(5人乗せるくらいの広さ) ・内診台(megujoy)1台 ・分娩監視装置(Avalon)1台 ・胎児ドップラー(アトムフィータルドップラ 又は 胎児ドップラエリート) ・ITVシステム 鏡を天井に設置して、鏡を通して講師の手元が確認出来る仕様とする。 ※酸素と吸引の医療用配管を設置	内線1	3階

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
看護学校	準備室		16.0㎡	1	準備室と母子実習室は仕切りを無くし、少しでも広く使用する		3階
看護学校	女子トイレ		36.0㎡	1	・洋式(パブリックコンパクト便器・蓋あり・ウォッシュレット付) 6人分可能 パウダーコーナー等のスペースあり・ドアのタイプ(上部空間あり?) ※柵付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 バリアフリー対応ブース1箇所		3階
看護学校	男子トイレ		16.0㎡	1	大便器2、小便器3・洋式(蓋あり・ウォッシュレット付) 2人分可能ドアのタイプ (上部空間あり) ・小便器コーナー 3人分可能 ※柵付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 バリアフリー対応ブース1箇所		3階
看護学校	洗濯・乾燥室		10.0㎡	1	・洗濯機 2台 ・乾燥機 1台		3階
看護学校	物干しスペース(廊下兼)		36.0㎡	1	・おりひめ様 2台(天井に設置)		3階
看護実習	女子更衣室		100.0㎡	1	入口ドアセキュリティ、洗面台、鍵付きロッカー(100~120)、テーブル(荷物置き用)、長椅子(2~3)、全身鏡、椅子	内線1	○
看護実習	男子更衣室		15.8㎡	1	入口ドアセキュリティ、洗面台、鍵付きロッカー(30)、テーブル(荷物置き用)、長椅子(1)、全身鏡、椅子	内線1	○
看護実習	給湯室		11.4㎡	1	シンク台(お湯も出るタイプ)、備え付け棚、自動販売機、棚、テーブル、ゴミ箱(可燃・不燃・ビン缶)、ポット(3)、電子レンジ(3)、冷蔵庫		○

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
看護実習	図書室		114.0㎡	1	<ul style="list-style-type: none"> ・本棚 必要数(古い本棚は置いていく) ・雑誌用のラック(3列のもの1、2列のもの2) ・移動式白ラック 2 ・卒業記念品の本棚 1 ・扉付きの本棚 1 ・個人用勉強机+椅子 20(窓際) ・視聴覚用小部屋 1部屋(5人は入れる) ・ソファ 必要数(何人かけにするか?) ・4人かけ机+椅子(4) 2(各部屋1組づつ) ・文献検索システム ・コピー機 1台 ・防犯システム 	内線1	○
看護実習	相談室①		8.8㎡	1	・4人かけ机+椅子(4) 音が漏れない様、壁仕切りを設置する	内線1	○
看護実習	相談室②		7.5㎡	1	・4人かけ机+椅子(4) 音が漏れない様、壁仕切りを設置する	内線1	○
看護実習	相談室③		7.5㎡	1	・4人かけ机+椅子(4) 音が漏れない様、壁仕切りを設置する	内線1	○
看護実習	ゼミ室		30.0㎡	3	相談室よりもゼミ室が広い方が良い フレキシブルな間仕切りを設置する ・ホワイトボード 3(各部屋1つ) ・長テーブル 6(各部屋2つ) ・椅子 18(各部屋6)	内線1	○
看護実習	情報処理室	31	72.0㎡	1	PC30台 講師用PC1台 2人がけデスク15台 PC椅子30脚 講師用デスク1台 講師用椅子1脚 モノクロプリンター2台 プロジェクター1台 電動スクリーン1台 音響設備1 セット ホワイトボード1台 備品棚1台 監視カメラ1台 入退室管理システム	内線1	3階
看護実習	調理実習室	31	36.0㎡	1	キッチン5台(各コンロ2台) 冷蔵庫1台 電子レンジ2台 ホット2台 机6台 椅子31脚	内線1	○

計画必要諸室面積 延べ面積2,500㎡程度

区分	室名	収容人員	想定面積	室数	摘要・指定条件等	電話	1階配置か否か
看護実習	地域の方々との交流スペース	20	36.0㎡	1	机(カウンター席)10席 椅子20脚 活動に合わせて形を変えられるテーブル(勾玉型テーブル)8台 カタログラック 自動販売機2台 手洗いスペース1か所 掲示板(デジタルサイネージ) セキュリティシステム 防犯カメラ	内線1	○
看護実習	教員用研究室	4	63.0㎡	3	デスク4台 椅子4脚 PC4台 プリンター1台 サイドキャビネット4台 棚1台 壁面ホワイトボード1台	内線1	○
看護実習	学生研究室	5	14.9㎡	1	デスク2台 椅子5脚 ホワイトボード1台 キャスター付TV1台 ブルーレイディスク1台	内線1	○
看護実習	小演習室	15	25.6㎡	1	机3台 椅子15脚 ホワイトボード1台 フレキシブルな間仕切りを設置する	内線1	○
看護実習	学生自治会室	10	19.3㎡	1	机2台 椅子10脚 壁面収納棚(扉あり)1台	内線1	○
看護実習	同窓会室		12.3㎡	1	テーブル(2)、椅子(4)、鍵付き書棚、電話	内線1	○
看護実習	男子トイレ		16.0㎡	1	大便器2、小便器3・洋式(蓋あり・ウォッシュレット付) 2人分可能ドアのタイプ(上部空間あり) ・小便器コーナー 3人分可能 ※棚付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 バリアフリー対応ブース1箇所		○
看護実習	女子トイレ		36.0㎡	1	・洋式(パブリックコンパクト便器・蓋あり・ウォッシュレット付) 6人分可能 パウダーコーナー等のスペースあり・ドアのタイプ(上部空間あり) ※棚付(荷物置き兼ねる)・自動手洗い・エアータオル・自動点灯自動消灯 バリアフリー対応ブース1箇所		○

* 駐輪場について

自転車約60台分の駐輪場が必要となります。(1学年30名 約50%が自転車通学 1学年15台×3学年=45台+15台=60台)